

先人の苦勞を讀えて

北

北竜地区開拓 120 年周年記念式

3 / 11

3月11日(土) 北竜第3地区において、先人の勞苦に感謝する開拓120周年記念式典が執り行われました。

式典では、絵内行政区長から「120年前、我々の祖先がこの地に着き、開拓を始めた。幾度の苦難があったことが想像されます。その意思を後世まで語り継ぐのが自分達の使命です。」と述べられました。

北竜第3地区の開墾は明治29年、最初の入植者は堀要一郎氏を始めとする6名であり、越中五箇山の人達によって開拓されたことから、出身地の地名がそのまま地区名として「五ヶ山」となりましたが、昭和25年に現在の北竜第3地区と改正されました。



旭川医大の学生による

小

学校で違法薬物について授業

3 / 16

3月16日(木) 旭川医科大学 Med-Edu(メド・エデュ)に所属する学生が、小学5年生に違法薬物の危険性について授業を行いました。

Med-Eduは旭川医科大学に在籍する医学生・看護学生で構成された学生団体で、今回の授業では違法薬物が身体にもたらす悪影響について教えていただきました。

最後、実際に違法薬物が身体の中に入るとどのようになるかを一人ずつ発表し「依存症となり幻覚を見たり、幻聴が聞こえたりする。」など違法薬物の怖さを学びました。



6年間の思い出を胸に

沼

沼田小学校で卒業証書授与式

3 / 18

3月18日(土) 沼田小学校(元木和芳校長)において、第107回目となる卒業証書授与式が執り行われ男子16名、女子12名の計28名が卒業しました。

元木校長から児童一人ひとりに卒業証書が手渡され、卒業生は「中学校では勉強と部活を両立できるよう頑張りたい」「6年間どうもありがとう」など、決意や感謝の言葉を涙を浮かべながら述べていました。

元木校長の式辞では「卒業おめでとう。今手渡した卒業証書は君たちの成長の証です。支えてくれた人への感謝と何事も諦めず挑戦する意思を持ってこれからも頑張ってください。」と述べられました。式の最後に、在校生と卒業生で呼びかけを行い、全員で「旅立ちの日」を合唱しました。



第1回卒園式

認

定こども園で卒園式

3 / 19

3月19日(日) 沼田認定こども園(土肥芳子園長)において、第1回目の卒園式が執り行われ、10名の園児が卒園しました。

卒園児は土肥園長から卒園証書を手渡され、ステージ上で「小学校では勉強をがんばりたい」など一人ずつ小学校入学への抱負を発表しました。

土肥園長は「入園当時の頃を思い出しながら証書を渡しました。初めて先生と呼んでくれた日のことを昨日のように思い出します。たくさんの幸せをありがとう。みんながランドセルを背負って小学校に通う日を楽しみにしています。」と園児に優しく話し、金平町長は「卒園される皆さんおめでとうございます。4月から仲良く楽しく小学校に通ってくださいね。」とエールを送っていました。



今年の味は?

雪

なごり熟成完成

3 / 27

3月27日(月) 12月中旬から町生涯学習総合センターゆめっくるに併設されている雪の科学館で、原酒の長期熟成をしていた「雪なごり」が熟成期間を終え、蔵出し作業が行われました。

沼田産雪中米(きらら397)を原料として、高砂酒造が腕によりを掛けた力作4,000ℓの雪なごりは、約3ヶ月間、室温0~1℃で、湿度は80%以上の安定した状態の中で熟成されました。

蔵出し作業では、原酒を雪室内のタンクから運搬用に別のタンクに移し替え、高砂酒造へと運ばれました。

沼田小売酒販組合の小泉清彦代表は「米がいいので原酒は色も香りもいい」と話されていました。

4月15日(土)から町内酒店で販売されています。



事業の概要を説明

長

生クラブとの懇談会

3 / 30

3月30日(木) ゆめっくるにおいて、沼田町長生クラブ(松野茂雄会長)と金平町長との懇談会が行われ、金平町長から、「商業コミュニティ中核施設」「暮らしのあんしんセンター」「沼田警察署の分庁舎化」「町営バスの再編」「JR留萌線」などについて説明しました。

参加された49名の会員は、10月にグランドオープンを予定している「あんしんセンター」「商業コミュニティ中核施設」など、身近な施設の説明に真剣に聞き入っていました。



介護予防事業

高

齢者元気100倍！教室閉校式

3 / 31

3月31日（金） 昨年5月に開校した介護予防教室「高齢者元気100倍！教室」の閉校式が執り行われました。

これまで「笑いヨガ教室」や「健康運動」、食生活改善協議会による「料理教室」など、健康・栄養・教養の総合プログラムとして計18回開催し、平均26名の参加者がありました。

閉校式では、参加回数に応じたポイントが15ポイント以上となった27名の方へ金平町長から表彰状と健康グッズが手渡されました。

金平町長は「外出してこういった事業に参加して、人と話したり、笑ったりすることによって健康が保たれます。これからも元気で過ごしていただきたい。」と挨拶を述べました。



新しい体制で安心安全を確保します

深

川警察署沼田警察庁舎開始式

4 / 1

4月1日（土） 深川警察署沼田警察庁舎開始式が執り行われました。

この日から沼田深川両警察署が統合し、深川警察署が従来の1市3町に加え、新たに沼田町、北竜町も管轄することになりました。

式では吉田深川警察署長が「統合の効果を地域住民に感じていただけるよう、安心して暮らせるまちづくりに尽力したい。」と話されました。

なお、沼田警察庁舎では今後も免許の更新や、事件・事故の届出などの手続きが出来ます。



待望の新施設の完成

商

業コミュニティ中核施設の竣工式

4 / 1

4月1日（土） 町と商工会、北いぶき農協でつくる「株式会社まちづくりぬまた」（吉住淳男社長）が運営する商業コミュニティ施設の工事が完成し、関係者約40名が参加して竣工式が執り行われ、施設の完成を祝いました。

式の中で、吉住社長が「今回この施設が建設できたことは皆様のご尽力の賜物です。町民のみなさんに自分達の施設として育てていただけたらと思います。」とお礼を述べられました。



みんなと仲良く遊んでね

4 / 1

認 定こども園で入園式

4月1日(土) 沼田認定こども園(土肥芳子園長)の入園式が執り行われました。

式では、土肥園長から「お友達と一緒に遊ぶことを学び、元気に登園して下さい。」と述べられました。

新入園児18名(0歳児～5歳児)が一人ひとり紹介され、元気に返事をして、全園児70名(4月1日現在)の仲間入りをしました。

1年間、こども園生活をいっぱい楽しんで下さい。



交通安全を願って!!

4 / 4

役 場主婦の会マスコットを寄贈

4月4日(火) 役場主婦の会(金平智子会長)が、春から沼田小学校に通う新一年生の交通安全を祈願して「カエルのマスコット」を手作りで作成し、金平会長から疋田博和校長に手渡されました。

このカエルのマスコットのプレゼントは、役場主婦の会が地域貢献活動の一環として毎年行っているもので、金平会長は「子どもたちが無事に通学できるように願いを込めて作りました」とマスコットを手渡すと、「いつもありがとうございます。子どもたちも喜んでくれると思います」と疋田校長はお礼を述べていました。

マスコットは、4月7日(金)の入学式の日(金)に新一年生に手渡されました。



無事に帰ってね!!

4 / 6

商 工会女性部マスコットを寄贈

4月6日(木) 沼田町商工会女性部(中山玲子部長)が沼田認定こども園の年長さん15名に、「安全にカエル」を願いカエルの形をした手作りマスコットを手渡しました。

園児からは「かわいい～」などの声上がり、全員に手渡された後、園児一斉に「ありがとうございます」と大きな声でお礼を伝えました。

中山部長は「15年以上、このマスコットを寄贈しています。安全に帰宅できるようにと部員みんなで作成しました。園児達が交通事故などに遭わないように願っています。」と述べられました。



創立 70 周年・統合 50 年

4 / 6

沼田中学校で入学式

4月6日(木) 沼田中学校(小川 勉校長)で平成29年度の入学式が執り行われました。

今年の新入生は男子16名、女子12名の計28名。今年には創立70年及び統合50年の記念の入学式でもあり、新入生は少し緊張した様子でしたが、担任の先生から名前を呼ばれると大きな声で返事をしました。

小川校長は、「統合され50回目の記念すべき入学式です。皆さんとは一貫連携教育で一緒に学びましたが、今日からは沼田中学校の一員です。一貫連携教育で学力を全国レベルへ近づけるよう一緒に学びましょう。」と式辞を述べられました。

新入生代表の山田千愛さんが「入学式の喜びと、中学校生活の不安がありますが、中学校生活の3年間で悔いを残さないように頑張ります。」と代表の言葉を述べました。



ピッカピッカの一年生～

沼田小学校で入学式

4 / 7

4月7日(金) 沼田小学校(疋田博和校長)で平成29年度の入学式が執り行われ、男女合わせて12名(男子7名・女子5名)が沼田小学校へ仲間入りしました。

4月から新しく赴任された疋田校長は式辞の中で「皆さんは今日から1年生です。頑張ってください。2つあります。1つは挨拶、元気よく挨拶して下さい。2つ目は話をよく聞くこと、先生のお話をしっかり聞いてお勉強に頑張ってくださいね。」と新1年生に話しかけていました。

新入生の紹介では、担任の先生から名前を呼ばれると大きな声で返事をしていました。

その後、2年生が小学校生活の1年間の行事を自分達が描いた絵で紹介し、2年生から6年生で歓迎の歌を合唱して、12名の新1年生を暖かく迎えました。



今年もきれいに

長生クラブによる清掃ボランティア

4 / 10

4月10日(月) 沼田長生クラブ(松野茂雄会長)がJR石狩沼田駅の清掃ボランティアを行いました。

新年度が始まり通学や通院で深川などへの利用が増え始めることから同クラブが企画して今年で7回目の実施となります。

この日参加した35名の会員は、持参したほうきで天井の埃を丁寧に払ったり、窓をキレイに拭くなど、駅舎の汚れを落としました。

参加された会員からは、「学生さんの通学や、自分達が通院などで多くの町民が利用する場所、気持ちよく駅舎を利用して、一日でも長く存続して欲しい。」と話していました。



せいら 山森星空さん全国6位入賞

旭町西在住の山森星空さん（12歳）が北海道ルスツリゾートスキー場で開催された「全日本ジュニアスキー技術選手権大会」（3月24日～26日）において、小学生女子の部で見事6位入賞を果たしました。

星空さんが出場した部門は、タイムを競う部門ではなく、滑りの技術点を競う大会で、星空さんの果敢な滑りで高得点を獲得して6位入賞となりました。

星空さんが初めてスキー靴を履いたのは3歳の時で、9歳から本格的にスキーを初めました。シーズン中は、ほぼ毎日、高穂スキー場やカムイスキーリンクスで練習をして努力を重ねてきました。

星空さんは「来シーズンはテクニカル（検定）を取得して、技術戦に出場していい成績をとりたい。将来はナショナルデモンストレーターを目指したいです。」と目を輝かせながら将来の夢を話してくれました。



第72回国民体育大会冬季大会 **ながの銀嶺国体** 男子大回転の部

長谷川祐一さん 道内勢最高順位

長野県で開催された「第72回国民体育大会冬季大会 ながの銀嶺国体」（2月15日～17日）のスキー競技会男子大回転の部で、北海道代表として出場した長谷川祐一さん（44歳 沼田スキー連盟）が、1分19秒05の好タイムを記録して119名が出場する中、北海道勢最高となる16位の成績を収めました。

長谷川さんは「今回は6年ぶりの国体出場で、8位以内の入賞を目指していた大会でしたが、トップ10の人達はレベルが高く、元オリンピック選手や今でもスキーを職業にして活躍している人ばかりで、その中



に食い込むのは非常に難しかったです。北海道代表として出場した3名の中でトップを取れたことは良かったですし、今の実力ではベストの滑りが出来ました。」と話していました。